



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一 (TEL) 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,627	△3.6	△34	—	△26	—	△31	—
2023年3月期第1四半期	13,093	14.1	35	△85.6	9	△98.4	△22	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 482百万円(50.9%) 2023年3月期第1四半期 319百万円(△43.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△1.51	—
2023年3月期第1四半期	△1.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	67,716	17,932	26.4
2023年3月期	67,951	17,765	26.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 17,856百万円 2023年3月期 17,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,500	△7.3	240	△21.0	180	△9.3	100	△26.2	4.76
通期	51,500	△7.0	1,000	△27.8	800	△32.2	530	△45.8	25.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2023年8月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	21,350,000株	2023年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	321,991株	2023年3月期	321,991株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	21,028,009株	2023年3月期1Q	21,253,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会経済活動の正常化が進んだことから、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、ロシア・ウクライナ問題の長期化や、米欧の金融引き締め、中国経済の回復の遅れ、物価上昇による消費意欲の冷え込みなどにより、世界経済は厳しい状況となりました。

化学業界におきましては、世界的な需要の鈍化や用役費の値上がりなどがマイナス要因となり、厳しい状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外の自動車関連や電子情報材料関連を中心とする需要の低迷や、原料不足による石油樹脂の減産等により、前年同期比465百万円、3.6%減収の12,627百万円となりました。

損益面につきましては、売上高の減少による収益へのマイナス影響に加え、用役費の値上がりに対する製品価格の値上げの遅れや、2023年2月26日に発覚した当社サーバーへの不正アクセスに係る対応費用及び情報セキュリティ強化対策費用の発生もあり、営業損益は34百万円の損失（前年同期は35百万円の利益）、経常損益は26百万円の損失（前年同期は9百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は31百万円の損失（前年同期は22百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

香粧原料は、一般洗浄剤の大ユーザー向け販売の減少等により減収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤等の販売が振るわず減収となりました。土木建築用薬剤は、中国での販売がやや回復し増収となりました。農薬助剤は、国内外ともに低調で減収となりました。繊維助剤は、中国での販売がやや回復し増収となりました。紙パルプ用薬剤は、消泡剤等が伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、販売数量は減少したものの製品売価の上昇により前年同期比109百万円、1.5%増収の7,235百万円となりました。一方、セグメント利益は、収益性が高い製品の販売低迷並びに用役費の値上がりに対する製品価格の値上げの遅れにより前年同期比128百万円減益の10百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、原料不足による減産の影響で大幅な減収となりました。合成樹脂は、自動車部品向け等の販売が減少し減収となりました。樹脂エマルジョンは、ガラス繊維用薬剤等の販売伸長により増収となりました。アクリレートは、中国における電子情報材料関連の需要の落ち込みを主因に大幅な減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比317百万円、25.9%減収の907百万円となり、セグメント損益は、47百万円の損失（前年同期は45百万円の損失）となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外の自動車関連需要が低調で大幅な減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤等の販売数量が減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。石油添加剤は、国内外ともに販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比457百万円、24.8%減収の1,390百万円となり、セグメント損益は、10百万円の損失（前年同期は16百万円の利益）となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、プレーキ液基剤等の需要回復により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体不況の影響が表れはじめ、販売数量は計画比下振れしたものの、製品売価の上昇により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比194百万円、6.8%増収の3,067百万円となり、セグメント利益は、前年同期比93百万円増益の124百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 8(セグメント情報)「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が△107百万円(前年同期は△99百万円)あります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、67,716百万円と前期末比235百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が774百万円減少の36,194百万円、固定資産が539百万円増加の31,522百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が437百万円の増加、受取手形及び売掛金が998百万円の減少、前渡金や未収消費税等の減少を主因とするその他(流動資産)が199百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が141百万円の増加、投資その他の資産が398百万円の増加です。

負債合計は、49,784百万円と前期末比402百万円の減少となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が1,202百万円の減少、短期借入金が787百万円の増加、1年内償還予定の社債が300百万円の減少、未払法人税等が223百万円の減少、賞与引当金が348百万円の減少、設備関係支払手形、預り金及び未払消費税等の増加を主因とするその他(流動負債)が633百万円の増加、長期借入金が304百万円の増加です。

純資産は、17,932百万円と前期末比167百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失により347百万円の減少、その他の包括利益累計額が515百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は26.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から修正しております。詳細につきましては、2023年8月7日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,078	6,516
受取手形及び売掛金	13,976	12,978
棚卸資産	16,071	16,056
その他	849	650
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	36,968	36,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,480	13,385
機械装置及び運搬具（純額）	5,418	5,395
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	393	719
その他（純額）	1,782	1,716
有形固定資産合計	24,220	24,362
無形固定資産	1,233	1,232
投資その他の資産	5,528	5,926
固定資産合計	30,982	31,522
資産合計	67,951	67,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,965	8,763
短期借入金	10,577	11,365
1年内償還予定の社債	800	500
未払法人税等	255	31
契約負債	8	13
賞与引当金	579	231
その他	3,396	4,029
流動負債合計	25,582	24,934
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	15,295	15,600
退職給付に係る負債	6,196	6,191
資産除去債務	68	68
その他	1,042	989
固定負債合計	24,603	24,849
負債合計	50,186	49,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	11,971	11,624
自己株式	△163	△163
株主資本合計	14,460	14,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	2,262
為替換算調整勘定	1,710	1,824
退職給付に係る調整累計額	△353	△344
その他の包括利益累計額合計	3,227	3,743
非支配株主持分	77	75
純資産合計	17,765	17,932
負債純資産合計	67,951	67,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,093	12,627
売上原価	11,605	11,141
売上総利益	1,488	1,486
販売費及び一般管理費	1,452	1,520
営業利益又は営業損失(△)	35	△34
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	52	58
為替差益	-	11
物品売却益	13	15
その他	11	18
営業外収益合計	79	104
営業外費用		
支払利息	77	76
為替差損	6	-
その他	21	20
営業外費用合計	105	96
経常利益又は経常損失(△)	9	△26
特別損失		
固定資産廃棄損	17	14
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	17	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△7	△40
法人税等	13	△6
四半期純損失(△)	△21	△34
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	△31

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△21	△34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	392
為替換算調整勘定	584	115
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	341	516
四半期包括利益	319	482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312	484
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	6,364	912	813	2,686	10,777	12	10,789	—	10,789
アジア	596	306	845	118	1,866	7	1,874	—	1,874
その他	165	5	189	68	429	0	429	—	429
顧客との契約か ら生じる収益	7,126	1,224	1,848	2,873	13,072	20	13,093	—	13,093
外部顧客への 売上高	7,126	1,224	1,848	2,873	13,072	20	13,093	—	13,093
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	24	24	△24	—
計	7,126	1,224	1,848	2,873	13,072	45	13,118	△24	13,093
セグメント利益 又は損失(△)	138	△45	16	31	140	△5	134	△99	35

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△99百万円には、棚卸資産の調整額△111百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リテイー ケミカル	計				
売上高									
日本	6,328	761	843	2,958	10,892	11	10,903	—	10,903
アジア	793	141	396	103	1,435	14	1,449	—	1,449
その他	113	3	151	5	273	0	274	—	274
顧客との契約か ら生じる収益	7,235	907	1,390	3,067	12,601	26	12,627	—	12,627
外部顧客への 売上高	7,235	907	1,390	3,067	12,601	26	12,627	—	12,627
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	28	28	△28	—
計	7,235	907	1,390	3,067	12,601	54	12,655	△28	12,627
セグメント利益 又は損失(△)	10	△47	△10	124	77	△3	73	△107	△34

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△107百万円には、棚卸資産の調整額△117百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。